



## NPO 法人 グローバル園芸療法センター

所在地 汐見町 1-231-12

創設 平成 14 年

社員数 6 人

事業内容

- 就労継続 B 型事業所
- 園芸療法実践事業
- エコパーク水俣バラ園管理 など

現在、14 人の利用者が当施設で作業をしています。主な作業内容はエコパーク水俣バラ園の管理、エコパーク内の園路の花壇の整備などです。特にバラ園の管理ではバラがきれいに咲くよう年間を通して、植栽、剪定、施肥などの作業をしています。植物を育てるこ

ことが分かっています。園芸療法とは、医療や福祉分野をはじめ、多様な領域で支援を必要とする人々を、園芸を通して支援する活動のことです。欧米で発展してきた活動で、日本には約 30 年前に登場しました。園芸活動にはストレス低減や認知症の予防・改善など、医学・福祉の分野でさまざまな効果があることが分かっています。

当施設は園芸療法という活動を通して、高齢者や障がいを持つ利用者に働きがいのある仕事を提供し、自立を支援する非営利団体です。



理事長  
本田洋志さん



▲バラ園で作業をする利用者の皆さん

とは単純な作業の繰り返しではなく、毎日変わる植物の様子を気にかけて、コミュニケーションを取りながら臨機応変に対応することが必要です。当施設では「緑と福祉の架け橋」となり、笑顔と感謝の心を育む」という理念を持って、障がいを持つ人も持たない人も関係なく、誰もがやりがいを感ずながら働ける環境づくりを心がけています。

市民の皆さんには、年に 2 回開催される水俣ローズフェスタを訪れた人にきれいなバラを喜んでもらいたい一心で、日々、利用者が作業に取り組んでいるということを知って欲しいです。より魅力あるバラ園にするため、利用者の皆さんとともに頑張っていきます。



令和 7 年エコパーク水俣バラ園  
春のローズフェスタ  
インフォメーション前風景

私たちは、エコパーク水俣バラ園の管理を通して、福祉、農業、環境、観光と多様な側面から職員一同、社会貢献とやりがいづくりの職場を築いています。

バラの栽培は、一年を通して、休む暇がない大変忙しく、自然相手に苦労も絶えない作業ですが、春バラの満開になったバラ園を眺めると、その努力と苦労は、報われると感じます。このエコパーク水俣バラ園が未来へと発展し、市民から愛され、バラを毎年楽しみにしている方々のためにも、より一層の努力と工夫を凝らしたバラ園管理に努めていく気持ちです。